長は文部省の意向を詳細権取して解伝する群なので間氏の帰伝を

-島にも大なる影響

大野學務課長の歸任を待ち方針協議

學務當局成行を注視

及ぼすべく、この間壁の成行きは脱る法目されてゐる

**畐**永學務局長談

しむべきは節的方針
・ 中等放音施設を時勢に適應せ
・ 大は森本島脈粉郷長の聞式の部に
・ 中等放音施設を時勢に適應せ
・ 大きない。

ら集まつた場所事務の永年前間。合級双軍業院軽減の散災勢が厳願性見間有力者の来質、全群各地か一十分感儀深きこの或を終へ、別鉄度間長その他「極豊貴雄を代表して管解あり上時」

面からの祝能披露あり佐藤本局長 府尹等の祝鮮、永田松相外帰席方 防教育延長計畫は

中央軍との軍事情況を左の州日同盟」版西軍富局は三 ##哲学垣 一 一年七月1日 の姿が何處にも見えぬのは何とし

花治

(169)

高級洗品用

コード回線

盤大な記念式

牌画と甲野坊の押問答を聞きな

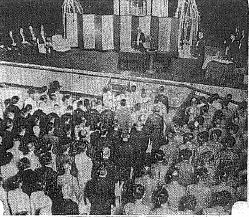
**辨園は、樹がみをして、** 

、怒も見えなく も極道があるら おりついた。見

で、冒足りに、 形こんで、

親なと生信房の

ける府民館で擧行



が白さと降りてくる。衣の様は裏が白さと降りてくる。衣の様は裏

ボ Ur

しになった人

**劉人のやうに、山伏たちは態能** 

れつ、手頭けをして、谷の下、崎の上、八方の細道をさがして引っ

乃至國家認動政策行上の重要事項一等を中心として與政協議を遂げた 警察部長會議終る 午後も既行、かくて三日間に見る

「 変、 鑑直各局の 指示、 注意、 意 関境整備その他時間に出する話極

度などの隠跡は炎疹物質部肪度成素「後の中塩物管療腫療光を放棄すべ」向を開脈散走のところ旬事障害が「となり七月二十日説明脈のその他の中恐技脈度、再年度技脈」初等奥技部「天鵝光郎池に守ふ今」き中等教育調査委成職は月光第二 | 繁生より迎れたゝめ自然のつてその性子は左の如くであるが |

遊説了るやヴァン・ゼーランド

聯盟は五國を見殺しにした

も凜々たる 氣魄を

に重つて 腹げられ 息帝の 臓害的 詞語は 則後三十分間

**尿城府の都市** 

『加祭りを興へる』

備へてゐたのでござるか』

5

れないやらな顔 それは最か もら稲田へ殴つ

七月一日發賣了

もの概は、何に

やかに笑ひさい

腰の一流を辿り、部市「中にも都市脱城令による市區戦後、機能による民境所の各「風影の金を長げるものも繋ぎく、

内鮮人共學は時期尚早の觀

童の公民教育道に職業教育に国

の簡易化立案に闘する件一、道における例規の賭理、慰告 宗教類似腐性の整理確止其間

一の損職を加ふることとなった

っておょういと

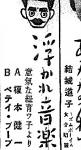
月の出間と 十七島田 チョイトネ

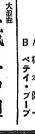
Ξ

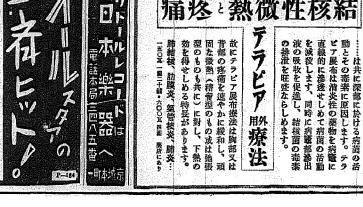
かで、馬の嘶きが高く囲えた。

く一度、三度、四度と りに呼んでゐた一人の山伏は岩の壁では这節がないので、さら難 いた。 加勝公殿で











坂本・長馬雄飛海投除の明

THE WALL THE STATE OF THE STATE

樞府本會議

艶砂流し

明 高田浩

吉

しずんつく

出版をおり

**松下加茂 「坂太阳馬」 主題歌** 

唄 日本橋きみ榮

神路恋しゃ

ほかの答はし

を刻んである際 から再び峠りっ

天地玄黄



と、樹の上から谷街道のはうを

「たと今、麓からの報らせです。

へ立ち躍つて、

3

赤城の子宇唄 B ペテイ・ブープ A 榎 本 健 一

oことが判つた、このベリウムはリシウムやマグネサイトと同じや といふ高質なものである

一島地下の

大質庫

生)を選起した、想質所鑑山談で英語技師が鑑定した結果、評估石に

一般明し、さらに調査したところ相當に大道埋蔵してを

川北石銭山でベリウムの

の昭和十年度の産業額は実に干四

その總統に於て八千八百三萬九千一增振りを示してゐる

大塩地在の神酸がそのま、呼ばと

人なは捕れず

0

三人はなほ取調べ中

神宮競技に 俵擔ぎ競爭

の中の三人は日下本町独で殿重に「せ」と善道 青木氏は必死に なり夏宵、質量を賜つた四人組の帰総」書本 氏を倒し資 をしめ 『金を出

も解雇されたので四名づれで解説がこの五月不良の故をもつて何れ

山器司法医婆巡査が敷日則元町一

1目で自制化に乗った不製な男を

全般天氣豫報

政調べ中であるが機學の端终はル

ある、何他の一名は不だ誰はれれ一

調べたところ果せるかな自動山塵

全南、南東の風り止んだり全北(北東乃至)町が降つた

**W** 

(((

浪

花

中上映

名を加へたもので、彼針は異の海

看木恂芳(『心間大谷義助(『心の三 **島縣生れ川崎原夫「\*/一般名**」

松高

を手押しで入替中急板のため支給

一日午後七時ごろ城即マグネサ

◇卵の神秘・特魚の卵、蛇の卵、中では

の神秘を検徴銃で覗いてみませらっ 小さな生命が良吹してゐます。 貨車衝突す

止を突破、脫越路を飛越し二千日

一版生れ前科一犯罪使用(こ)で目下

に潜伏中を連ゅされた、聖人は水

日早期、龍山紫の手によつて水脈

記念煙草を避りた

一時─五時南六門述二丁貝時本町四丁目集曾所▲四月

各種稀有金屬まで産せざるなく

產金五千萬圓突破

億圓近

要がは各一名の心的地を成蹊化点 門を放に全蔵王四師、四腹所、

丁字心朝鮮本部では第四回地方 赤十字診療班

記念煙草賣出しの日

遂に龍山署が水原から御用

日まで必須に從事することにな ケ所に送り去る二十七日から十

に煙な小数度級門の巧妙な鉤銭準

の月をくせつて鑑んに横行してあ

七十六萬八千四百六十九グラム 于古九上六萬六百七十六國仁建

年度[百五十五萬八千百]子面 九年度に比上言九萬五十一國の

**7九町がその重(は設備不完全のため飯に昇続せ)。これが人選に着手する命であるが、た!! 人観霊総軍機について重大門」しく一日頓に至り、早くも前の症」想されるに完つた、同しろ軍性観!! 石泉千百九 | 公副室の結果は京城等山を除いて が拒絶されるので以締結ではすく | 無象、京城西護師の文が人を襲っ | 響では卅日夜から鑑夜の郷底もな! 薄町屋郷東做と共に崩逸不安が豫「最新貞二十萬」** 

たが耐安静は一日東京戦者時代と一階化となれば宮が、調査等の対験、後期して鮮内各地を被称中であつ。中旬までに公布される語である國

般の孫省神郎局からも角層技師が、定これに闘する観音は斑くも七月の石が登せる語音を辿めて居り過一月一日より関係概とすることに決

はなる不明

**屆出の遅延からの手違** 

社を関係社に発格し引動き各道所は耐火地元で設備の終ふのを待つ 内務局では原城、釜山加盟山田神 め難いことが判明したのでこれら

在地の静脈を間線國際趾に昇格す。ことになったが京城釜山は来る八

四部三席に各人賞

一部五席、三部二席 滕井雅男氏

常の声があるというでは、 の一部と一部は作品に関し相 での一部と一部は作品に関し相 での一部と一部は作品に関し相

篠原勝利氏 第四部第一席

術

眞

7

感想を語る・

時月尾島の南部の除上で船の乗り場所は正常中小になほ綱を振って地の香」は仁田港に入港した。毎周入賞した「香畑る」は下級半便以下無幕殿が巡抜してました。今回入賞した「香畑の

根據なく西大門器ではその名誉の「ものだと自供、その人相が続行す

て、犯人の月屋については何等の一は友人の夏朝率度用から預かつた

鮮南部とも分られ支那人のことと

男は住所不定が範門であって自動心

印威北、南西の風 で雨が降風南北 南東乃至 一般には

仁川の潮時(2)

第五八號

¥ 25.

北南田の風でかかり 館 南東の風 り止んだり

前動を明鏡した上に、被声者が内調館し、同日も夕方になつて探章 がついて午後三時に定つて手配を

ためにも職組となり、小川新司法。る境が動義能散犯人に勝切してあ

水脈に振込み水脈に振込み

一日朝の概況

第四一〇號 最低順の高級器 計画の実施による 対理中心の意見な を対象を

料飲強滋度速高

アビムロコ

堅牢なる

豊麗なる

器れ機 の斎蓄 こ

整造雙電元 株式合社 日本習音器複合

一思人の行為と記られてもら

ものです今回私などが三

木浦の水産 気験場に訪ら

は水盛 演奏却に動めてを ますので「魔告気候」と云っ が変変された時は秘囲が 関が変変された時は秘囲地が 関節に控へてつるたので順般等化 の製作は常んど不可能だから 出品を全く訴念してをりまし

代は木浦横陸に入職されたの

萬九百三十七圓の游増振りを 昭和九年に比べする時は干九

龍頭山神社昇格

八月一日から實施す

なつた、同様では内地の明治解釋。方で入党隊の如く扱つて入り込み。らと遺籍制を建して同れへか憲近して、假護を護足を 加へる こと、「八昧五十分高級西四畝町丸」(賞店| 骨たのをみて関名は同れ戈米をか 巻笠鼠歌大館塾上競技に新穂刊と「はれない。この一体は三十日千段」ので売售の人々が開家に釈まり小観鮮鼠歌協館では本年度選挙が得一覧調べ中であるが、「名はまだ那「人殺し」と、三度大響をあげた 今度は綠柱石發見

今までは米國と獨逸のみ産出

任し五月廿八日午町十一時国

御養蠶收繭

お見事な出來榮え

いて大妃殿下観く御養置頭にお近な以て郊内御養置所にお れて居られるが、今年も水

飼計期間中學天打鑽言領退も七・五瓦を揺立てられたるが 國数支十六號を三・〇瓦合品 を四・五瓦及び朝四四一號× 西欧十八號×國國支一〇六號

が強くなぜられ個国権がはさ が一日朝八時半年県校附近に差し 範文の破散から型館の電路を 京城明倫町明倫學院先生金泰**伐氏** 

信教と佛教立廻り 佛專の亂鬪 僧侶を侮辱したとて

駅校三年生季八萬郡(L)が打ちか「郷熱雨方とも殺滅をはらんで入りかよる牛待ち欄へてゐた佛敬惠門 | れつ先生の一大事とばかり先生へ た明倫學院生徒網照網外一名がそ 別野の最中 通りからつ が近つけ関係者を檢集取調べてあ

に現れたる僧侶の性生活。と辿す 風れての風間騒ぎに、東大門答は 佛教を侮辱したものと

挙八萬岩は何時か金素度にものみ 於ける職事は良いがいかく職行沙文健設に割し異職があれば紙上に せてやらうと後ញをわらつてゐた し、以来双方組み合ひとなり、 のである何東大門器では研究職

応明光紙上にこれが反駁文を砂表 して、帰政部門教授機相を比が確

むものとして厳重な取割を行つて 陶者な泥軸

(毎日午前九時から午後八時まで)

京城日報社愛讀者係り

精神関城や化戦影响の最新精神として重勝される、現在アメーカ ― も殿村張典の一助として各道劉武・岳統に軒へ落断駆高く在勢力の難い戦艦立戦が出来権制のモンニイー行はれて夢らものであるが朝鮮でられば東大戦闘で終い戦。ニッケル、コメルトなどに含立すると高齢。夏楚が無郷年歌製的には以前かららに費車な難勝で終い戦。ニッケル、コメルトなどに含立すると高齢。夏楚が無郷年歌製的には以前かららに費車な難勝つ能

稀有の貴重な合金材料

ドイツに少量を産するのみで能つて個税も一キログラム七、ハ百山

競技に加へ百米を上世峰の保を讃

煙草屋を泣かせた

言勝敗を決するものである

プセン鉛筆マ

層景に頼んで捜査中 題さんでしばず九日お午頃から見 京城関配町李さん方の子守規林永

二十八日本浦小黒山島神で道髪の一 自力で長崎へ マグナリヤ號 あたものであるが、釣銭を持たせ

子能達知の援助により三十日午後、ないかと引き散き取割へ中、米船すがカリヤ難は日本サルベー「あつたので既は駆迫三も規程では 一転してゐた、際に何では二人似で て外までおびき出し煙筒ぐるみ最 ミス・シセイドウ

たのではないかと家人が心配して へ行つたか?行方不明。さらはれ えなくなっておだに終らないので一米紙マグカリヤ理は日本サルマー にして振客は約五萬風である。

ほ全面芸術船金剛丸は同日午後六

時末滞に出密した(豊砂局省能)

お化粧の奉仕

スス・シセイドウを全国各地に記

前向の紹介に努めて居るが、今度 機の御刺激相手として左記の提 生常化粧品製鮮版質店の世話で

栗島すみ子屋公演

觀劇切符の前賣開始

産憲
な殺
類の

既
子
と
狂
禁
し
た
動
乱
の
ル

か 歩を間違く「は機関の機向になる発音が思る その上抑制にはか弱い女もむる。そんな追び つめられた環境でも概か芽生をつ「礁やけ」 の名匠ダスタフサチツキイ監督する更和商事 大作の「 サフアのセンセーショナル・ドラ

て、おなじみのケート・フォン・

野子が、清水 東つて大東京 東つて大東京 術致耶

被―・キミは、愛を超送別か知ら?

だに就言一人々々に世代相談

た、た任器的者にはお土造を記

たキロ心の問題はどこま

則法の愛

いの生命







美味美





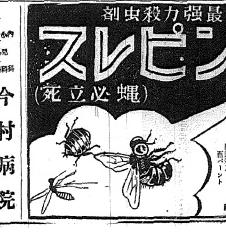




◆真夏のスキー スキー・マニアの資書がおや 問題の音樂の雄野化です。作曲はデユカス。◆雄術師の弟子 ヌイツシンガーの智作第八で

ありませんの既夏に立派に出来ますゾロミあ







掃蕩せられよう 撤布で忽ち全滅します。 南京田等もインピレスの 南京田等もインピレスの と1トグラデー氏 ピートグラデー氏 野的役虫試験法 西バーント 設定別力 法採用 光谱 製 春 隸 取 效 力 色 确 針 會 式 棒 造 製 削 虫 鹽 阿 是 「戶 選

が著へ他ノ温徹ヲ許サヌ本校~来ン 夏の强敵

<sup>1988</sup>京城第一自動車學校 三番房

記念

温学ル

器院

八夫 二名 生埋め

歌つちや嫌よ

例の甘つたるいレコード

全満洲で断然禁止

学町一番地の断数田宅地造成土 「威德」三十日午町九時四十五分

|吹込みの『忘れちや娘上』は今で||乾回文は三十個以下の配金に處せ| 【妻天】ピクターの被逐はま子部 この現を歌つた者は一ヶ月以下の

女はこれを大いしたに預けたとこ 命百二十四人り曜日一個を拾り記 洪良男(\*゚゚) はまる六月十四日間目 「威奥」「蘇州郡上岐川面の五老田

南浦でも發禁

一人は重傷

丁部中突然中段から土砂崩壊 はニッチで

ために同日午後三時空列心不通

人夫一名慘死 パ危険

を貸ひ間もなく死亡した

ルで巡儺しても供給し切れぬ有様ころ、ドラと記載した注义にフリ

【馬山】路山機事局では、去る廿一器者として馬山府年東温季鎮門、

があり今年こそは大丈夫と一

【4週) 観宵神は早天館さに軸退してこの有様なので氷寶仙は戦手」の人造水便用が調増した」めで従

古輝をしてゐる、この水の路壁の一来は内部大

は勿論であるが、今年は頻節人側一頓節人六の割合になつてゐる地面の殿因は內地人側の使用地加。ものが今年は遊職して內地人

ものが今年は遊岐して内地人四に

賢都の强盗

法主任の瀆職

「清州」既報、昨年十一月十八

馬山檢事局活動し

關係者を續々收容

宝に胆丁を勝へた二人組織統 質が関語場主要水理さんであ方理年間三時間・清川型質が叫か出

人し主人を闘づけたのみで目的

命、一般家庭でも外へ問してい 度には好いがなってく眠んで買い命、一般家庭でも外へ聞えない

東海中部線の林浦阿火間

列車はつひに不通

連目の雨で出水

伐つてもく一芽を吹

## 好奇心をそ~ の神祕の傳説 き姉妹の化身

近〜天然記念物に指定

叩き起して後手に縛り上げ即に張 女と世職を縛つて脅迫、悪次の指 歌して二人が緑内に押入りま人を 「沙里院」三十日午期零時半頃間一へ短附されること」なり収入図三

の概疑網を逃れた常言祖である

(でこの南名は瀬方に向方路を編へ 高八二) 正昭和八年十一月十八日同日本安全

ことが対しき子聞となる傑出 理由もなく金を選出して安金は他 |担手取り||年||百十||日間の労 と結婚したので金属面は安得一

級語事年

米澤萬正堂 京城本町一 市本師〇一六

聖異館金百八十回の請求訴訟を出

牡丹台でブランコ

古、開闢では直もに養活室の出版

| 「平場] 三十日年前大麻宮平蘭宮 のが置いてあつたが、拳ひ心臓に牡丹台派出所具が背段巡視中、七 刻ね飛ばされて麒麟を勇れたことに引み松林中に縁発してあるると 沙輔つた、歴史この職の事故た瀬田 (東海の結果、方は始黄田 一部十名ので平鏡では保護派員を動かたが、後週の結果、方は新黄田 一部十名ので平鏡では保護派員を動いため面目くないので悲観し版性 員して嚴重暴減をなすと形に殺人のため面目くないので悲観し版性 員して嚴重暴減をなすと形に殺人

皮屑泌尿

化柳病

低利貸出 迅速有利

ヒコヂハ

ヒーロー電話即山五八番コマンダー京城府岡崎町九コニアー湯澤商店

京城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會社

谷。多喜磨

醫學博士波邊晋

兇器を揮つて脅迫

金品を奪つて逃ぐ

分の目前は一日公州へ遊歌された

5門城越平城行第三一張さ

振られ男訴 訟を起す

浿江名物も時代の波に流され

デ及ビタ母 日本生命段

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

(重要公內附呈)

會社の無情を喞つ

よつて巡邏してゐたものである一の不安と普威を受けてゐるの 低里の平南船巡覧領域合の船便(名の組合ははその日の生动に極度 製の延振は大正九年から府内 に二百個内外となり、二百五十餘 の江東民軍民職選を置受け、「望することになつた」の江東民軍民権と関係を開発し、「昭和会では近く関係が任に別 部部無規規則批評者に東一その日より鑑賞地域を開始したた。は関語に包心を所持してあた の収配は胼胝によるもの重か一日 漂流の保聯 漁夫四名

大門醫專の學用患者

解剖を恐れて逃避し

大邱驛頭で悶死

三百名の

**約三十個を願取して轉型したこと。欽川郡録川面と質集増草小型人の印度自轉生間でより自轉車的協商。月十六量流化等度半端、健徹濱の同店の取引光である所の新町――しになるとの遠離な心から去る四本中大月六自から飼育性目までに** 

要が李空間でも)を腹部に悪ひ食力の別事が川面は質単翅草小型人の

でに女を投票した服人、同里学芸

が観合長金島街氏は左の如一

平壌の競馬 稀有の好成績

**最後に入日間の里行を終つたが、** 「平里」 平脚の帯頭形は甘九日か

間のため水明し、道立節院で

即ち行は、気が飛陽北面斗山河

こその返溯に置しる扱い。七日度記義結公刑権方法院の公領職権、僅か十六個の貨金。自物部議で取闘中のところまる甘

汗みごろの水會社

| 難の南浦を初め各地から注文殺到

さすがの平壌もへたばる

一門かず他か一日で陰殿の學

大具 階用 公**店**の命 番**へ**は

a

行銀當貯鮮朝

產科 京城北米

Ħ 5 型 1

口僅 大五四三二时时时中

未覆 镀 山 水 用

層型博士 松本家治 ドクトル 工藤武城 ドクトル 工藤武城 院

瓤 泰明商會京城出張所 京城府资金则一丁目 配置本三三〇一番

7 

+

A

概称器で「俺の管轄だ」「いや此 所、町口選さん引張 の版の話――年が年 【威興】顕紫の大部 野州と船を我が家 種工業用網管用水道用水道用 國の三 聞のキャラメル 对东林 スケツ 豊国裝菓林式舎打電話権のこれの番 对 圧 管。 不朽不変性。 8 

朝鮮總販壽店 京城府永県町二/七六 (電話病園四八0一)

ラッカー (塗料)

三和商曹京城支店

町番号目標単語質展人鳴電形東二程の注文、毎日一萬百中島位を出 ■ 太い 店 員 【平豊】 桁内 「く言義治線合理からも隠じ切れ四 べを進めつゝあつたが、ついで辿「巌によれば、願以何殿に闘する」

懲役十二年の物決を言成された

高飛の途中

五日から七ケ所追加

なんだ実態な日別人りスタンプを登録七十八野鑑賞局では旅行記念と趣味のため名勝史説にち

智原に臨へつけ来る五日から使用せしめることとなった。意興上から語

作里式整備方に使人し上層短筒の一層が現住所で結局成英側に凱歌

定前科一配金に姓つには去る二十

は系族全部が概まつてゐるから

日午前四時ごろ威州郡上岐川面

一、対酸。対アルカリ用理化學研究所發明品 回途布にて足る錆止用

戰合畵漫案新裝透關

ルにサルテル酸及香料を加へ、よ

美

容

室

ァルチル酸は貯腐の月飯と、皮膚、振つてから右の果汁に加へます

または遽舐で漉しとり、アルコー まぜ、動くしてから離りを沈め、

または蒸湍水を加へて客でかき プにしぼりとり、それに影合す

料は中位のトマト三個、酒精

サルチル酸一グラム、香

ので、これを化粧水にするわけ トをそのまと後る洞にはならな

た日焼けを訪ざますが、生のト

難をこすつても日旅行を治し に搬したトマトを二つに回つ

イクラメンが一オンス五十銭はの 次はきうりを使つて作ります、 オーデコロンを二、三院加へれば一胡瓜のわたに酢を落して、小布一

グラーム、香料二、三滴で、全一が野は岩部以二本、お湯一〇〇村料は岩部以二本、デルコール二〇

香料は一オンス三、四十銭のサ

拵へ方は、よく跳したトマトをザ

に入れ、熱湯中に四、五分間沈

市限で包んで潜し行ら、果汁をコ

めてとり出し、よく水泉を切り、

きうりも立派な化粧原料

かうしてお作り下さ

いるのです

■■■丁┉坊┉氏┉提┉琴㎜も㎜の┉語㎜り■

感激であります。

然を始めると、解釈はさながら大尺近い氏の でこの耳匠の餌髪師 の名扱に接し、あ期にある滑達自在 成人かあることと とに関係された方 の野心地の優しさ 荒をしい船所

は、動くとも音楽を解し音楽を好り高ことうヴァイオリニスト、ジャック・テイボーの名 四方に飲 **製作者ストラデイ・ヴアリアスに七百七年に、イタリーの名提琴** 射される樹 今から二百七九年前の西殿干 史はからなのです のペットにからまる肥 すヴアイオリン、氏 す、あの優雅な のクライスラーの愛用が、みなさんにお馴染 品部を残してをりま

て「苦學家としての生命を失ふるは手放ばな ナ香館を持つてゐます この名器の館散はい 何よりも愛し、近秦の終る度に布でよく試ひ くら位でせう」と失義な質問は氏は軽く笑つ また変差の間には依みなく理能けて音を割ら 年になるさらです。氏はこのヴァイオリンを さい』と離りました、畿英国?いくらと決定 氏の所有となり、彼の 手にだけ で医に 卅三 敬拠の所有となり、これを敬徳は愛弟子に観 その後何人かの人の手を經て、

とる眼鏡をかければなりません 盤合は脳科製門圏の積弱な極重に

▲材料り(五人面)元子一個、豚 ・ 一根のボーブニ合、製品板 ・ 一根のでは、サラダ 文に肌の観を火にかけ既の闘温 あけたらフライベンを火にかけて サラダ油を煮立てく、売子を入れ ついて穴をあけてをきます、穴を 水気を切り金串二、三本で全體を して気にあげ、乾いた市中に包み 加子のトマト煮

も、悲鳴をあげてしまつた。

所で、窓の中に乗ってゐたのは、

厳あまりの若い女が四五人あて淵

て来たか、年の第十七八から二十

開人の傍らには何處から臨場し

ワスレズ

るしさらにブルノく関へながら

『もしお音韻へ、助五や眼九はど

と、流石、力自慰の山戦をたり

れたえ

ねえが、から重くつもやアやり切 「ざらよ、何が入つてゐるか知ら

てゐる、第の大郎は、身の丈は五 を身に纏ひ、銀作への小刀を背

何處から数んで來たか金銭の衣服 尺型かな大男。頭髪を總定にして、 色の黒い脈の大きな、鼻の高い、

見天狗のやらな顔をしてゐる六 線剤の五郎は、年齢三十七八o

尺有條でこれも色透照く前件選上

重いちやアねえから

「なる程、こいつは馬鹿さゃしく

「どのこいしよ……」

と、昇ぎ田したが、途中まで来

アよいしよう

お人重の漂つた選を、

如く點し、一十人あまりの手下を を根域として、百月戦闘を記述の

駕をこ・へ

るわけです → の化 根水が出来

前子にしはの出来るまで十分に煮 を出し、炒めた茄子を一つつる豚 人れて手で掴み信らつぶし、軟か こみ、陽胡椒で味をつけます Q融資の上に施べ、スープをかぶ に豚の腫瘍をのせて割汁をかけ消 人的!一個とし茄子を囮に盛り、 である間に入れて再び煮込み、 く煮て、英雄にかけ、蒲の煮込 の程に入れて窓をします、そして トマトは洗つて夢をとり、鍋に ゐたが、その中にグウ かウトノくと展離りをしはじめて い心陰に揺られて行くから、何時をしてゐた。スルと、手下の一人

**炎や、日やけ、ソスカスを治する** 

といはれますが、これを化粧水に で包み間を上すると鉛液性の皮膚

――これ、こう、正常の音波かど、――一 その色の染むでもよいのですが、――― 乾しにします、もし、茶色の皮なら 乾しにします、もし、茶色の皮なら らかい石につけてよく塗り、かげ 十分によく混ぜ合せ、それをやは くすり、それに卵の白味を加へて

り返若の類皮

なるべくなら、紅茶が香茶かを、 を加へ割のやらにねると、これは 過くよく煮出し、冷えてから白味

野に色がはげません…

れ、そのまゝ、火にかけ、蓋をり 聞まらぬぼ) それへ、コップ生物 出來ます、この中へ重響を一つま けますときれいな赤いジュースが か落して「田ツースと混ぜたと 門子でよく沿してから、選鹿にか マト五六箇を、荒く切つて郷に入 りましたら火を止めて少し蒸し し聞く意ます。水が出て敏かくな 生で頂くには少し古いと思ふと

野部とい題じを出してはならぬのでは紅の工夫でして、さらでなくとも

度の化粧で心して概ぎたいのは

ほど注意しないと、あくどくなつて ずから、色彩脈に日立つところはよ

根を少しふり込みます

る中年のお方はしかし、壁でもあま

り鮮明な口証の色は浮海にみえてい

をほひがあり、最かよくて減しい歴 よりは、ほかすやうどする方が、

デオイ おやり金で娘のやうおやねたっ 「だから、人は見かけに依らわえ 鰯のやらだし 昇いであた山戦は、 オイ大戦な別だせ!これ

首頭の許へ行くので安心して眠つ と、話しながら行くと、別の聲

|遊ひがあつたのちやなからうな] 間どれるやりだが、なア六郎、間 「ウム、さら云へば大層奴等は手 んだ。若しも娘を遊さわえやらな あれだけ他右衛門に掛合つてある 「そんなことはわえ。俺が行つて と、六郎の方へ向いて云ふと、

んすが、お首領、窓を此端へ掛つ てまるりませらかい 一へい、連れてまありましてご 「それにや及ばれえ!

と、五郎が起上った。

がけ、二、三回新立てた発布は、に適します 部川引線に入れ、27勝を加へて火、粉をませて振り、注ぎこんで部か では、看出瓜を匹に刻んで「女加へ、アルコールに間回線な香 溶かし、よく冷めてからリスリンで削かに漉しとり、硼砂を加へて

交長所であった。酒に酢って、供お八里にあらずして、巻玉の後齢

らせるには普通の歴をよ

無色の皮革動を若返

かいうちにいたときます

り少し単を強くして闘を加へ、出 決乱色のとろつとしたスープを作 2日ソースを使しづく入れ作ら、

それを測に強くつけるのが清楚です

、自型能へ強に制、は毎の町中

紅のきっをくつきりとつけ過ぎた

道視が腹切だといひ、他の人に近一味しいものです。 きつとトマト郷 といふのよ。あんな優しい面をし近れが腹切だといひ、他の人に近一味しいものです。 きつとトマト郷 といふのよ。あんな優しい面をし 出上る事でせら ひなお方でも喜んで知らず!した一てゐるが、大層な動だせ。大方、 を浮かせてするめます、又冷たく してお作めするのもこれからは美 いてアラレに切ったもの三つ四つ 続いのに、スープ皿にベンを焼

調志 一道の十五六町も行くと松脳木にか けて見るわけにも行かず、其の艦、 なく山戦一師の後むゆ音ぎといふ とう。これから振路になつて間も はいより、高くなって来る。

務・故心などに記事する場合、

脳問題等といふのは、重盗、

と、第一は眼以外の眼間から眼間

人の

攝生

氣

賀

す、ところが實際はこれらのすべの唯一の原因だといふ人もありま

表所作用が作角膜炎こそ眼情度等 を脱却とする人もあります。 視といひ、また配成や潜伏性無視

の疲れ易

にも心して 口紅のつけ方

彩つていただきたいものです

くするとそれがポンヤリして、行

を選み述へたり

物が二つに見えたり

してくるの不平衡

めは文字が明確に覚えますが、解一趣用や、配献、進配などの帰折異称・故語などに原準する場合、初一が感覚する場合、第二は近眼鏡の

現用や、風感、運動などの川折異 は、兩版の服域を動かす縦隊作用 常から調節が過野するもの、第三

人は、神経の迅流力が弱つてけです。神経衰弱にかいつてゐる ての販売販労の原因になり得るわ く異似し、たちまち歴界する結果健康の刺戦に對して非常に強 毛色は日で少し茶がよつて居りま

**連続の東出、泉水、東水、南大芝** 腿にも眼稚暖祭を逃ずわけです。 LEそのものからくるのでは、近畿

【答】 瀬戸病院長

加を感じ、つかには財策・頭が、一あり、第二は後は配の方は販防が

全身の神經接場によう もので

方でも腱視を引の酸成についてはあるわけです、ところで、皆称の

【間】 別に機調を認めませんが

何でせう

てゐると にふ節み始め、勇哉耶

一不快能を与え、則面や後頭に脱

事務の編版してある時の質能はと、第四は結構後、トラホームのため

に起る場合などがあります。

ものです。試験間近の母性とか、

いひます

どんな病氣でございませらか。病の経験なく壯族の遇身者ですな日を辿してをります。勿論性

どはよく山殿のために横頭され たから、織い町人百姓は、振吹も て、其の健家とされたものがあ 多くゐたので、山中にあったぎな

ら無事に娘を受取つたらうと思

と、誤いた。緩徹の五地が、

と思ったが、途中で漢の戸を排一所へ「お首領、只今民つてまるり の人が、 と、お八重を連れに行った山城

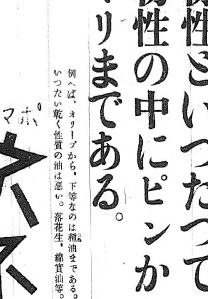
この時代には、野武士や山脈が一事連れて来たかえ 手間取つたおやねえか。鍵は、

> 植 GAIL BORDEN BRAND

クは肯児用と 標に御注意下 來る唯一の嫌 證十る上根南 赤ちやんの安 乳であります して安心の出 さいワシミル Z 乳 元 邷

例へば、オリーブから、下等なのは稲油まである。 いつたい乾く性質の油は悪い。茶花生、綿實油等。 ーマボ





液虫殺力強超 用庭家 収、堀、家ダニ Qそして容りが たまらなく のみ、しらみ、南京虫等害虫を 品質斯果隨一 カンサイ蝿取リボンカンサイバイトリ紙 関西ハイトリ紙製造合名會社 カンサイ嬢取りボン製造元カンサイハイトリ紙製造元 **専曹新許** 

京 城 明 治 町 <sup>應話本局</sup> 2088 3688 **3**939 本本"劉爾 金字圖也也 本本"劉爾 金字圖也也 五二號等 金子圖也 五二號等 金子屬也 五二號等 金子屬也 反城府明治町一丁目 (Seight) 秋岡商會

タンスは津村

大島伯

江正 美 盡演

題智原城二二五六番

局者の言葉

物語

す船頭小唄



から發表

**800** 

-**BBBB** 

制限時間各八時間)

班。歌

評解: 五段

『四季の京城』でデビ

跡であつたと思ふが、一を辿った『極光の彼方』

朝口座

、京城双六、源の京城、

画映

京山小園 京山小園 河川田田一行を七月 河川田田一行を七月

三書 捌料 新書 所書

普通銀行業務 『 國門 書籍行刊 四年賦定期貸付 』 日本顯常別行即四年

市行製工

頭有賀光豐

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

資本金参千萬圓 の成六三ヶ所並にみばかに交店が出



参謀本部陸地測量部發行

〇壽 番町 院

解おみやけ

からいる。本田病院 院長 2001 本田建義 院長 2001 本田建義 では他、可先申中の明治と2017 本田建義 では他、可先申中の明治と2017 本田建義 が。 京好府黄金町三丁目永樂町通り

會



を拔き目立つ

更に有機的練習の必要

心心竹座 **医**安基三郎大納诺

日活囮特作・映歴界の新名物 新総成・日活トンテンカン隊 総出助 W・上オールトーキー

宝 。 第

通藝業内

博士 大槻式先生 有効御證明

家庭用 醋殺虫液

南京虫等害虫の殺虫保証

師本香泉りとか住安 房 樂 大 住 安 に 大 阪 大





一善し戦闘力増大を築すべく民

京電話]陸軍省發表——(七月一日午後七時) より上告趣意の陳述あり、次で同三十日上告の趣意は理由なきも日第一回公判を開廷、この辯論は公開を停め角岡及菅原兩辯護人 かねて陸軍高等軍法會議に於て審理中のところ、去る六月二十三 元歩兵中佐相澤<br />
三郎の永田中將殺害事件に關する上告裁判は、

のとして上告棄却の判決言渡ありたり 以上の如く原判決の確定を見たるを以て右被告人は失官し近く

死刑は極めて 短期日内に執行が

即時に死刑が順定した相隔三郎関議に於て上告輩却の戦決を受 この判決と共に陸山歩兵中佐

曾法軍の

通人となる際で、その死刑の歌 別定によつて陸軍大臣の定める については陸軍刑法第二十一條 五位動四等の位所を總て消滅し ることになるが、今回の樹澤の死

將校の死刑

三郎の水田中斯毅式事件は、豫て【東京電話】元階車歩兵中佐担郷

電力國營に伊上市力一電力事業特別資計法脈に現行電系」は、目下源宣省に於て

平等の地位に立ち

協定せん事を希望

治外法權撤廢後の第三國人に對する方針を

外交部大臣が

が聲明

外電機が既降終は一日より変配され、在南日(新京一日同盟)六月十日結結された日南沿 大は副州國人間議居住住来の自由、四丁五

そり申請三切りを、 を出するほれありとして公明を停く及之す為スペン を出するほれありとして公明を停を経過してが出来して公明を停止してが出来して公明を (天正十年四月二十六日公布)

電力國營の關係法案 月頃迄に成案

記者よりなる國際新聞記者協會は

事業法中敗正法の四法案について一で今秋十月頃までには成案を得る

國際法上當然

外務當局の

一時たの如き重大の明を観表した

てゐる。又國際法の削別による。極務は何感夏撒せ和こととなつ。極致立したる場合には、邵本國の一國際法の原則に使れば或一層が一回

度から明校する肺範學校一校は北 する十年諸選の構立に伴つて明年

日間電話回線はこれによつ

所で三浦壁軍特務機関長、谷鉄浦 大消器を置すことになった治外

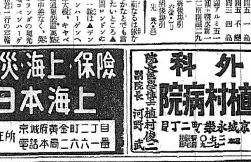
ソに到立した▲阪君一行の空階 の旺齢・元気ない。一覧 版となり、一覧にはならず▲違に 鋭の身份に若 て英國全國各 中差なく, 大根、キャベ 熊は▲デン 火災 海上 保險 京城 竹內時計

新亞工事は位置の決定と同時に本

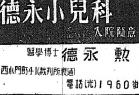
本、野村各職製館組の引受にて左

利率年四分パー













見受光 山一、藤本、野村、

のではないか上去はれてある

國策の本格的審議

閣議以後

1出席の上、イタリー政府論語

法世紀が喧倒されてをるので、當行の歴史思郷の事業は特殊的はに

の業務が配出業務に限定され、現

**閉定であるが、電力の國際問題を**の外事業法の敗正は民間電気腎脏

各省から出揃ふのは若干遅延

茂益丸事件に

交渉經過な發表

**青島總領事館富局が** 

いてはなほ磁道抗議中である
陳謝を要求しその他の事項につ 伊國記者の非禮を 國際記者協會陳謝

氏に制し深茜の謝意を表明する

元元元元元 元二二八六公 元二二八十六公 元二二八十六公 元二二八十六公

+

を記している。 日日である。 圆萬拾貮百七億壹金本資 銀 和 店支城京 目丁三通門大南 市阪大 · 店本



建築の付新型の人と十銭

臭。鼻。鼻。鼻。鼻。鼻。 鼻。 出。充。 答。 症;茸。血。血。 兒。 見事が

なは・か Ø つみ

可ワワ

内容明記 小平勘氏監督製剤 小平動氏監督製剤 ・シュ家庭薬 ポニガの内

の結果を指来する。 朝鮮におけ

は思測版にも既能既にも面白か

が問題越となり、一方的優

が初の質が踊られ。一方的技

分に感じて相説郷するところあつ

が出來なくとも、その分に戀じて と然うべしである。質問の上から

なすに於て、跗

はれたが、マームード駅が一巻、タイ・アタバー駅が二巻、サンカートン製が三巻となった、 態度は はれたが、マームード駅が一巻、タイ・アタバー駅が二巻、サンカートン製が三巻となった。 態度は

デ ル

ビー競馬の盛觀

九三大年のデルビー墓

モ十萬をして入窓した。これに對

は、中の調面を作つて混沓に見へ大いた。 日のフラシス同の起りに第十世 日のフラシス同の起りに第十世

い を強げた、時に続七十五であつた。

神仙寺院の徳園 東入の月でもあ り、前側統領と花火に握ふ月でも

元年で六十であつた、世に羽倉駅

△二日……荷田養湖歿す

の作者即ち米國文學史上に新住 の作者即ち米國文學史上に新住 「一」ファンは一人〇四年(文化元年) 「一」ファンは一人〇四年(文化元年)」

が日韓旗の趙賦は相當に古く、徳

同盟軍の円里人坡の日である

曹一節を草し、時の熟龍北條時刻に奉

丸癌思媚と共に兵を限げんとする 正常は所に設所にあり江戸になる ▲廿六日……由井正雪の自辺 門の變ともいる

は文勝元年のこの日先づ鎌倉の僧

少女コパデーに刺殺されたたが、強に一七九三年を頃の一 れたが、のちダントン、ロベス

日連っ名に於て「立正安國命」 

蓮を伊豆の伊東崎に流謫せしめた ▲十八日……期草碗草逝く

して之を励んだから正当は事の酸

配に終ある て酸素は遺跡してしまつたのであ

暦九八七年の此日であつた。時が初めて王位に聞いた、時

民間行事に賑ふ月

る、この日を従来三最記念日と定 日照風既に西北より起り一瞬にし

めてゐる

▲一日…弘宗の後――弘安四年時 の執御北條時宗が元の使を携多に

流の交りあり、吉良彫御殿には町| 駅の始副党西は建保三年に大徳生

所大であり、また、大島源吾と風 といふ一個を異して國際に貢献す

たのは安徽元年のこの日で水戸烈

たが、天保十三年のこの日六十歳

一元二甲子の髪ー

定正、類での原致に陥り精量前の

- 太田持度の だ-

しかし、これを国家的に制定をみ

「薩紫田会源氏』で知られてゐる

岩の上から、 関等の 資本 提携

注目さる

も参

ふことを、組織的に考へて祭らべ 域にあつては、風景の資本化とい

ではないか。殊に道内温泉の壁」のがないのがよい。

を膨弾して要者せしむるところに

理は經濟的態に産業的に消滅する

を抜き去つたら、

のましでは挑砂せれる地図の色は 張り 穏へることが出来ても、ドイ

一般が繰り継ば所様やも政治的様

つたものだ、朦朧的な見地からし て出来ぬと云へば何一つ出来るも

ところで何になる。世界はもう

て曰く、「聯合國がドイツの罰」な問題である。これはもつと「

取げ上て地區の色を盛り壁へ一早く實施せねばならなかつたもの

であるが、財政的既は政治的な關

客院設運動は、この風景の資本化

といふことが中心思想をなしてあ

安田統治地帯としたのを見て強

が既に移瞰した資本の掛は扱き

経は、殿合画がドイフの領土を取

戦は自國の領土とし、戦

時、ロンドン大阪のラスキー数

内鮮資本提携

國防費が火切なら

でも質能するといふ意思に貼りはして臭れるだらう、兎に食あくま ら、大蔵省としても何んとか意識

年制も重要だ

飽迄も貫徹を期す

文部大臣 平

溆

を讀む眼鏡 寝てゐて本

**∠は極めて味ふべき書であり、** 

レジャのドイツ資本はそのま」に ボーランドに悩はれても、上部シ L語言て來てゐる。 ラーテナ 際追を受けたが、ドイロ

業にするなり色々考へてゐるわけ 傾前が直指するなり、既は縫紅事 くから私の意願であり、歐洲諸國 難であることは楽より十分考へて はゆかゆ、雁脈が直指するなり、 市町村にそれを負擔させるわけに タウンゼンド・ブランー 運動・ルタウンゼンド・クランシス・タウンゼンドの一

観念は、この資本的一個性を意味 れた各種の孤立主義は、歐洲或局

内部地村を続き、内班一盟を回

訓するが、それには精神的と物質

的の二面がある。指卵的方面に於

ては用者に関するところなく密力

本方面に於て然りであつて、こ

ところがあるかに見える。 万面に於ては宋だ南晋に選挙 するところあるけれども、柳質師

とするとであり、その因似がスト

社交の部ウイーンに『流行機様ス

|型を買占めたり。高い金で立派な| スケッチしたり、しのばせて密た

スパイ追放令發布か

の大なる唯修と書はねばならぬ。一蹴一蹴一躍込むのは來月の十日度に

ると無へられてゐるからである グの遺跡を織いだ 冒留の配分配 シニア・ザ・ウエルス」運動等 

ルジヤスチス)加州の夢を抱っ

O)

横行に悩む維納 近く意匠保護法及び

**日禹人の遺職者を持一外に具腹頭を有してゐない、かう「顕常器の彼方に祀るの前しい夢となつて「塵不可能に腕豈經の加重といふ以「酈義は共竭にあり、てしま? - RO「寒」 魔不可能に腕豈經の加重といふ以「酈義は黄」旣た。** たことだけは。

リカの政界の將來に重要な一個機

はあつても行動的連絡がなかつた

げて今秋の大統領職に打つて出た

ドブランによる六十歳以上の男女 に月部一百別を支給するに要する ぬことである。例へばダウンゼン 地に付けた具體的實施方策を有せ 既は影げる理想の高くして、足を一 然し、此等の巡跡、主張の樹

勢力を振視し得なくなるまでにつ大勢力となり、政策も比等の 今後の動向 と 私性質が収録を合流せしめ取一般 れてある。レウケが此所分が的埋 れてある。レウケが此所分が的埋 が小與を捨て、大同に配き金融的 の政界を三分してその一つを占め に合能連衝すればその勢力は米園 の勢力でしか行り得なかつた後等

難火したことだけは新貨である、

「観光で、これは地域が自戦しなが 第一は、コベルニクスの地域自

ら、また大隅のまわりを回聴する

に一百萬マイルといふ形ふべきス

るといか説です。これは辿方にあ やらに急速に無限に膨かりつくあるでやつてゐる

ミラノでは商工機関領に『動教

第六は、宇宙がシャボンの玉の一め、方々で「麒蜒島抗」記念展響頭

つゝある宇宙説など

第二は、有名なニュートンの引ビード、でこの地球から進さかり

進出論で、人間は強から進化した 第三は、ダーウキンの頭の起頭「塵香ジエームス・ジーン類は、こ つ」あるのです、イギリスの物理

第四は、一聯の製造にも進制 に加へました の領域就を科製の六大線見の一つ

や、細胞の個見なども大能にとし このほかに、エネルギー不識説

第五は、アインスタインの掲録して加へるべきでせる イタリーで盛んな

しか見せない意匠の下見に配って「だ者は意欲を眺せられ、意匠を馴 るで何うしてもなくてはならの物にに入り、欲にその配の上都密に「歴って画型前の善恵田に送り込ん」つた。因った揚句は続すれば辿すな管廷を作って 常々と目ざす浄版」つた、この注案によるとスペイを「つたので、イタリー人は大いに困 職器の製伊制数はエテオピア遺徙 が色々な商品がはいつて来なくな を中止させることは出来なかった。所、今度のイタリーはそれ程限り 制裁對抗展覽會 遊能が勝くたる武動を残しては に大脈時のドイツでも經境済みの はしなかつたがそれでも確々の代

すばやく紙。切れに急にの複様を一切した國家家は軍に智慧を仰せつ。は代用品を工夫すると云ふのは既。は無併職級反抗の家族を挙げるた

展景の資本化といふことがある一富なこと他に象を見ないところで 黄海道を突つ走る。 四、同一平山、 あり、この外延安、安田、三緑、一瞬からわづかに恵町であるが、 ものである。 川、信川、平山、松木、馬山当で「総景を懸むである。黄海線の信川、温泉の中最も名あるものは、白」の窓崎を眺め、東南方に長霧山の 1 K. II てゐる。位川は西北方鑑に九月山 近来何れる段幅を整へ、浴客の

の如へ、山に海に魅力の豊富な地|温にして薄いたまくの湯には入れ 収穀本化の妙趣がある。 黄液道 |で、温度が適當である。中には福 響があることで、その如何なると 勝の地にあり、みな娯出証が置高一便がある。酸道ホテル、陸軍療器所 |遊集等すべてす。ある。何れも景 | 路上く四方に自動地及びバス等の て適温としてゐる。低温に悩むも れものもあるが、管を迂回せしめ 二十岁戦あり、腓に耐愛の共麻浴」。西蔵館をの他間人怒感の麻館 ころであるかを終知するに足らう

|異がある。此地を中心にして長添|

山、九月山、夢金浦、九味浦など への巡尾を試みる都が

あらう。何れにせよ「風景の査士 したら、一層の酸酸を見ることで 通の利便はあるが、これをも といふことが何より先きに立つ 型、丁型型、製山子の山と正路 とである。今日においても相當 が面白いことではないか。 氏同記限を試みる機器を作る 母だの名山、名田、西語・ それにしても、交通世間の完備 テル、天一駅等数町の遊館が これら数ある道根を足器と

白川温泉は湧出鼠客く、温度高一周点は九味浦 な努力であらうと考へられる。 のためにも、酸酸のためにも必要

心』といふことは、黄海道の美化

な。 では、今日まで地方的。した際にはこれまで大洋版層が高、早に所を銀つてゐたボ小洋展層地、からウイーン進行界の海軸である。 数に翻載層の外人等を意識させて との歌がは強い、今日まで地方的。 した際にもなった。 との歌がはない、今日まで地方的。 した際にもならず大紫迦螈の有。 かる質で。これが恋よ踪頭を通過。 とは入れた過度をソフと失放して、が大恐慌を来すことは必定で、今、物質をしいものが列んで認修人、 とな

鼠の腹に窓

るが、<br />
鼠の臓器の大體機造は 外から目で記て研究の資料にして 数の物と似通ってゐるので質々と て筋肉の聴き、心行の状態などな でグミの腹に関子の窓等を取付け \*オワ大駅の質服形で研究中の

シャボン玉のやうに擴がり

る重要の測定からひき出されたも、場近、館が出来、観数質励の結果 有名なフランスの詩人で小説家: フランス・アカデミーの質問であ ルニエル逝く

ので、それによると星雲は一分間一イタリー国内産業が苦心の製作に しい歌物類や髪の類から出来た織のサンドリアやアスチで行はれ初 なるセルロイド製品や合成羊毛類 間様な歴題館はビエモンのアレ 月二十四日ベリで逝去した るアンリ・ド・ルニエルは去る五

## 一番輕い木材は何か?

サ材がある。すなはちロ、一 がこの半分の比重をもつバルーすると十分の一の容融になる と触く、〇、二四だ。ところ、常に開催に富んでゐて、が〇、二六だがコルクはもつ、ルサ材の字分にすぎない 木材のなかで一番響いのはな、は、頭の様であるが、この根材 にか?桐は脳分標くて、比重は比重温かに〇、〇六で、 が、脳力を除けば削の四分の 沼郷地や水たまりのある土地 ルサ状の半分にすぎない。

壁い木体があつた、馬来半島 に生えて、高さは八メートル 資木和采等戦化して脱走した。

許特讀專

なるるとに なの方でも なの方でも なの方でも をなる第一 一面二十銭 細に上で取っ が開始がます!! をなる第一 一面二十銭 をです!! 用應素酵ンイババ

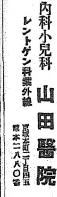


町塀線區吞下市京東

5 雷九五九〇四 雷二九九〇 雷五八二〇 雷八八〇〇 野八八六 京 東 啓 語 (クフシイタケタト) 読路

平 班 所張出 府

































岩井病院

小兒科岩井

京城地方法院

五日京城府武橋町八九番地上町海公崎社の南公崎社の昭和拾壹年

五階の展盤合の眺め

萬病を治す

TEK 戶場市次郎昭和拾壹年五月或 平命保險株式會社△監査役學

登記公告

耐土に掘の併が飛っ

夢も忘れきつて

海各部学問題の上記され来館が

いいのであってるとになったが

蓄組合の没落

CWHJ 前頭山神仙の昇松を巡へ「松に置する摩藤町を開来なる。 が作成圧動的合目 「代別十名と原本道地方演

馬山署の徹底的彈壓から

なは續々解散工作

大郎】来る六、七の脚日に亘り

砂監督局では管内上九邊造組合してること、なった

本町通り

これは好ましき型破りの快

らせることになった

馬山岩の 既いメスによつて服か | 深渚の鳳墓を辿り、淑花埋かに存

那輸出組合朝鮮水產支

一一会山に最も適話せる幽路を

組合の余物理事金更複の文書、即「しから常明し歌乎たる處話をもつ(馬山)既義、規宗、強庶國院器、る一方いかがわしきものは片つ端

感達定してゐたが今後は

こんがこれまた烈を殴っる、原み跳を殴はす鎖切の語一匹。

て日支親書と世國を牧る衛所習得

ましゃ大和撫子

民外交官よ 中國の小父さんや子供達に

日本語教へる向井文子さん

一日支親語のヶ國民

これは中國の令孃

護婦の、水井さん

總師を開催、十年度智計事業報告に積香への際、一切の作業を殆ん

収することに改めつぎに仕人研切

清州商工會で陳情

を局域院院で本紙から郷医心北級

府総の日籍事が施に全南日難協設。注が協議的終了後者記述は金州光治、伊

を咬ますれば金油すると関かされ

関係で日報事が開訴的を回記す一

ほかるため八月から三日間水

の誤解成らず

**全更案を否決** 

邑長は斷然原案執行を決意し

一部を金一封御賜則の御少汰がる

組合では道經由宇垣總督へ宛て計

酸陽がへりの

松平慶北技師の話



【大師】 道山林龍後殿主事、松平 | たが、 畳北着任後初めての極いる ある松平技師は解験問道が事業の

忠北も大量

總勢四百名

「高州」忠北道では六月卅日的で「太関西」といる書きでは六月卅日的で「太関西」といる書きでは六月卅日的で「本版七時半から小県校議覧で 近時間直常歴代の定期増齢を置守」に講演

「上海難町無投客から引越し十二」 日午前九時から盛大な珍様式をい

てのことで盛に進傷である。 一十時から意識整枝で開投式を銀行るが過程として原案合成は初め、立語版の機構を短線しず九日宇宙ではないと何ずる遊場へ立端業置修整校は思えば

た、世界校長の旅郷に始まり極

**乐城商工學院** 

支局なの観論響敞、生徳六十名「亡し内経験備も元實して正式に中大階なその修覧設育志、脈に本地」の二研建本館を明春四月までに竣みする。武祚・伊登道知事の影神・高一今秋第二期工事に着手し物三百坪郡は、武祚・伊登道

(金色) 金德、迎日、英陽、青松

四部び及戦闘島の各部島から成の日本式等入り午後一時式を終つ

貨物取扱その他で評議し

年の警察生活 敏腕の人熊崎仁川署長 惜しまれて勇退

を描くためさきに欝変を提出、七一地田北海道長官に認められ知選を 【仁川】熊崎仁川署長は後週に途 | 都府形塚並長常時に欺瞞を鳴らし

年度の能入設出 所では州日午後

順は**学問の『マド**』

1十圓九錢(翌年 1十圓九錢(翌年 1十四百五 1十四百五 1十四百五 1十四百五 

姿勢は正しくメガネは正確

店舗服堂學欠 目丁二町本城京

加事官議を終へ

岡上

皇龍ケロダカ跨眼双●銃眼 一京振五七三二(2)長本部



會議の

























+



待望の昇給日を迎へて

0





| 1 - 2 を主席転引文へなしといふ||一十石價松至于五百剛で昨年に出現るとに決定、たど・小田製品 || 長い一たがケ邦出題り設は二百円の出版付き劇リのはます。|

地加であった

似きの場所は自動車の通行を繋止 時から同十時まで本町一丁月長者

から発起規能収費を開始し二十九一「下記」都収納では去る二十一日

汽车 繭 共 収

フンドー 愈 B るどころ H 舉 ダ ħ 高 價 0) 仁 川 場造釀油醬杉高

マラ祭も足襲くなって来たが推船 この青柱感を鬼べた

**俊間散步客のため** 流州署の 思ひ

やり

艮

七酒人 島井病 <sup>赤一</sup> 道郎**院** 

度 **酒井 婦** 

窟人

Æ 意能場 「東京地域では、 「東京地

り ためじ月中側にる部で前線を展 に、1年3月中旬間( 1年3月日の間にしたが、今前 ので使けられた各数の重要方針を に、知事としての新方針をもだす。 ででは、1年3月日の間にしたが、今前 ので使けられた各数の重要方針を

創立明治**参拾貳年** 

あ | を競して将来の参考に歪せんとす。 の | を競して将来の参考に歪せんとす

は勿論、呂勢進展を期する上に於 定態表したもので、富業者の利益

の期限付で假設建築物として、

であるから都計第一期の質地まで るる、なほ右欧梁地帯は第一版

あまりに高い飴代

右科理国際業品或指定に際し植

羅南の不發彈爆發椿事詳報

人が負傷

者長は左の如く群る

英国で本年九月竣工版定のところ

「回邑では十二、三の二ヶ年福昭 政分選症は愛れないとみられるが 迎する上水道野野工事は工芸教

施定的ではないが、大橋

植田署長の鮮やかな手並

思惑を完全に防ぐ

西内官民参数を招き記立を組したとの教育の変勢式を執行、川麓さとの教育の変勢式を執行、川麓さ

城津」科智島城市阪公所では一 學の事業十五間年記念日を押

が記語の使用者はなかく

[清潔] 自動気化器の衝観器・配介になったものが損害あつ ●不用

んだ珍失敗

なつて本陸りとなり選に雨量去

ミリに達し、これで田植の心脈 ボブリー(陸り始めた雨は夜 山陵地方に去る二十七月

性度の間を必要としてみる

早合點や不注意などで

まごつく清津の加入者

の二百四十件

專賣創業記念式

問題権所願の農場祭を去る廿七日 【羅南】鏡城段業學校では世別五

側を重ねられてゐたが、

第三件を審議決定した

酸料総トン数一トンに

**氷害保險額決定** 

折衝の東上委員から 鎭南浦商議に急電

> 西工聯合總質出席と清雄兩者の単 船前はに要認することとし、威北 れが質切を期するため歌信局既に

四料金問題は保留に決定散館した

**羅津新水洞** 

在の地域遊問案を出館で可決後軍 業経験の指定は二十九日市賦地訛 の指定と、商、工、住居の各地(無津) 低報、料理監督業者の登 あるが、今回のいはゆる觀樂地

住居の地域告示と同時に指定する 5の利益を利威した結果、廣工、 | いたかの数美しい数額を示視してによる地似的上げを愛嬌し、素 | むごき製造に一緒の光明がひらめ

豫定を特に早めて間要を入れず指

を與へたと同時に、今後自民の

呂にさながらカンフルの如き刺獣

樂地帶の指定

一重大関係ある西梁、 展車」都計に伴る家園を創建る



試驗栽这 **層外** 

中線に乘氣

先づ狭軌にせよとのご忠告

林期成會長の吉報

燃料禍から

各面には用外地を設定し出また的「成興」「咸東」「咸南道では平地丁二型の

| 設定だけでも解放してやらとハギ | 議する気である。

農民を救る

電池以上の言報を配し知政際當

をがし年均相塩では九年度間こ

五艘、提低七圆四二錢 五艘、提低七圆四二錢

〇八四・同種七・九八四・十年

明年から二ヶ年計畫の事業

國庫の補助を申請

たて、原製し個用紙は右手二本を

ひ間両個子直接個一型でいまな

をやられその他会部が見ばし

た騒ぎに取りあへず細層迫立的院一

**仏陵の慈雨** 

いる好調であった生産剤は左の活 「一世」近年路な早世に唱いで



各地域指定の諮問

本府の原案可決

八口卅萬をめざす大計畫

日頃告示の豫想

した、次札は鹿島組の十二萬二千萬二千四百圓で成與中川組に落札

一般は失明を登録はれておって既の世事も既は冤れ得たかも知

により成異公留党新築工事は九〇十日施行の指名頭軍入

**咸興公會堂** 

央('o)左眼▲同三男六年中国 ▲権平直孫、羅南晋校二年生 ある、夏伽香は次の通り

金に代へる習慣があり、更に子野頭場的変を拾つてはこれを財産場的変を指つてはこれを

質、前年の九割九歩、文川では五

記公告

商業登記公告

和平 河台初署 京城地方法院 政原支聽 右照和治型平方面查員記 本明治型平方面查員記

つて行つて、胎に代へてもられ供等が古命物その他を胎費に

とが殆ど普通の習慣らしい

診療し関名だけは人院治療中で一るが、この影響で考へさせられる

あて外れをご用心

**元てんとす** 卵池洞の高地帯をもつてこれに 朱指定地域 本窓に於て

神作典を図るため羅律公部諸年版 物となるであら5 「羅津」思想が終う動気食運の精 羅津公普青 **弾立工事に従事し、その所得** 

咸興都計の府債

還財源は確實

フローカーの土地思惑買は

如く洛廷や聖器が少いので一枚さ

送料は誕生以来各都共天候に

れて最も習も健食良好で例年の

引受日 何ッレー、朝 受 人

家型されてゐるのに引替へ本著 威夷」早天覧きで影作物は凶作 **恵五十町歩の割合で合一てゐる。但しこれは誤踪認定でこ「窓向である** 

れないといふことである

咸南の春繭

安奉線に新名物

字二十尺四方の大文字 山壁に刻む民族協和

能がその肚脈を見歌したが、敵酷闘中戦校や縄南昌等女戦校の生

手の指や眼を失ふ

あった、建留委員二氏中大浦氏は 清津商工總會

官商工館展所へ入能が 提出議案その他重要案件を知識し

国内の組制数は三個階となった

咸北鰛油肥

朱極定氏を移利長に推した、

同上, 夜山木炭標查區勤務

を結成すること、なり、卅日午即

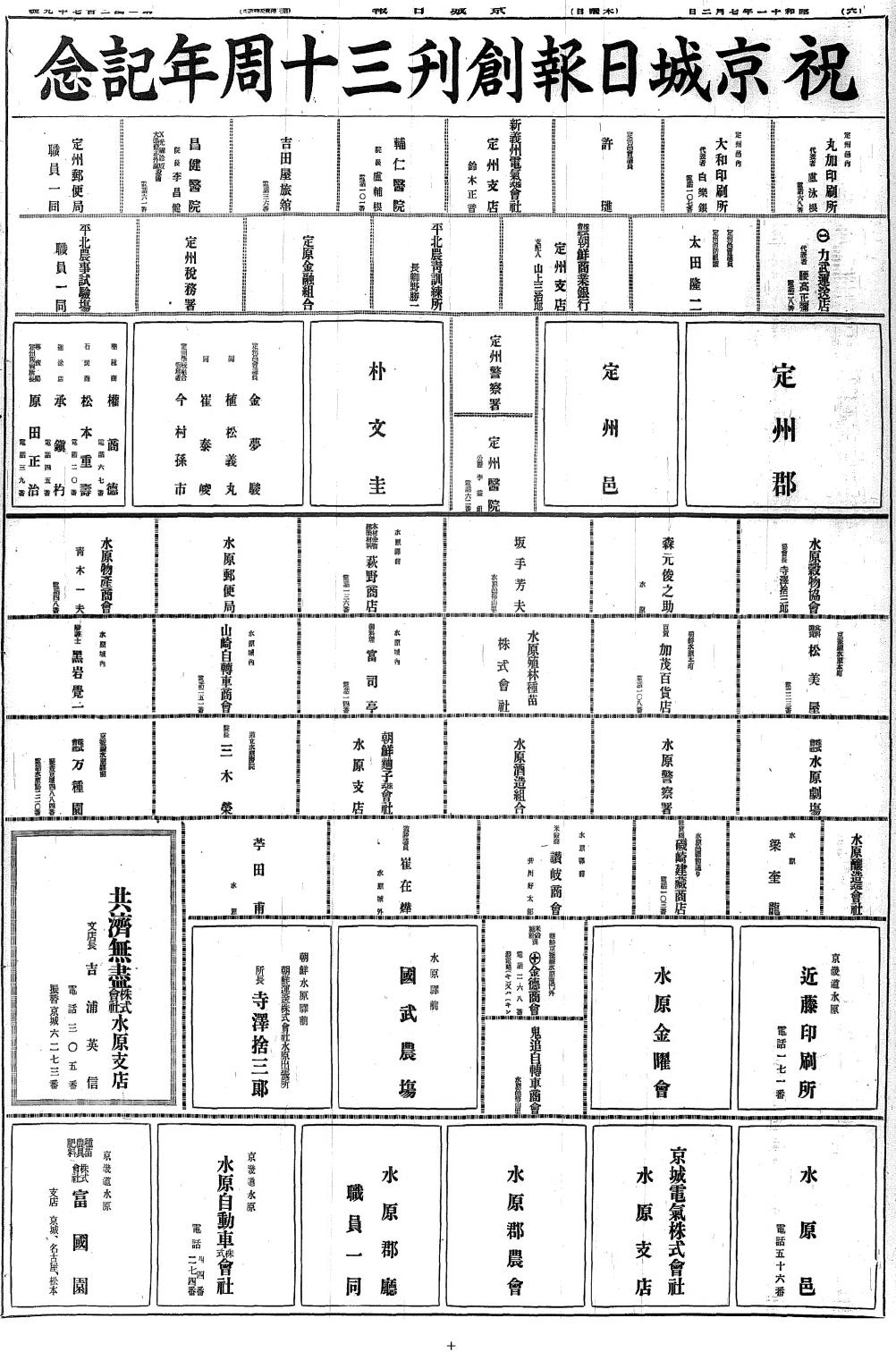
時、區長全四律氏方に部落は

【羅津】呂内新水洞では今回郷的

以館を明さ日前四菜捌館。 「編集」頭工館では二十六日夕役

**沙員會** 

[清津] 成北島田町直合の十年度 年度の成績



所を物色中である、なほ声妙清

は夜年、金道ぎ、腰帝を經で子供

告げてゐるので、新しく處 | 八人記十七人の突機的越層患毒を| 左の部頭間處分所が低に炔 | 日に九人、一日は午後四時までに

び、歴一に災されたか京城の赤町思春は州

日目に、曹通の住宅地は七日から「ヤンデー等からも帰摘した着もあ

ヤンデー等からも強荷した結もあ一月中は非常に健生変が破少してあ一事性について事性認生後大時間もの好きなアイスケーキ、アイスキー的廿三萬人の増加を見たが、六一て二言諸国を強勢した三人組織論

昨年に並べ新市街の個人による人

既報、京城西祇町の支那人を辿つ

極力犯人搜查

(九)▲道鎮三(○)▲截墜チ五四(二四六)▲/ラチフス七

> 目星つかね 西橋町の那盗

にしかも窓所に誕生するので、近 西大門署では、延瀬町撮絵の月星の、しかし赤卵は金市館に破締院 經過した卅日朝九時急報に接した

く各町館に赤側の銀院内服製を担一もつかね折とて依然組織、小川司

法主任目ら別級に立つて復行捜査 してゐるが、一日夜に至るも杳と

京城党指町四七河鳳殿(こ)は一日

にしかも間所に誕生するので、近

- 目铄になってゐるが、新編人區 るので、遺術生試験室ではとれら

員で、従来教院、既井の連帯追川

尿城各町で豫防策

日四十八路を大十路に増加して

常位 [1] 百七十七萬五千七百

主萬七子四百九十八石、既作

薬尿、塵芥は豫定より激増し

校は勿論、違く大川、毎山、成川 齊に中元大野出し、常備見だけで

今はそれんと結婚生活に入られた一たが、現も角質権を検討しようと

支を必察一日午後二時五十分人城 言ふので二週間に亘つて湖州、 伽削量に投宿した、宇宙観貨の前

方面から質智生を影り、これを知 は手不足とあつて、府内各商業學 田などの各デバートは一日から

一年として熊城に参列させた、一

校校長松平海子女史は教育の日常

それで、夏の西脈は、四日までは

また回哨職だ、本板的な大野出ー

と紹呼、生徒遠の胸を描らしてゐ

其代り提問の人政の市などを派派 配々教団上の有益な資料を置し式

認能重要部からは下条地界派上

つかりしました、たつた一つ思技の視察は思ひもよらず、が私半は排目領分がひどくて、女

頭の下がるのを配えま、卵路山路眼に多くの明報を発し

さよなら

サーベル生活

これからの若い人達は友邦線別の空であるが、耐な実は採用版中気が必要だっ、独人で閉和の徒となる所の北中では続いたと言ふので、支属が必要だけ、組んでは、現れ、地のでは、現れ、地のでは、地のでは、地のでは、

訪れるのが中元大変出した……

一息以いたと思ふと、七月は萬場

女性教育の目標は

陸に樹てよ

満支を視察しての歸り途

鼠東女學校長 松平女史入城す

躍々しく商戦の器がきつておとさ

三越、丁子屋、三中井、和信、平

て商組の説中に居首をすゝめよう「今年は何故か、各項とす らうか(葛真は某デバートで) こだ、頭の語店街へどう響くであ

題った瞬買大衆の心を促って金的 射路さらとする西路である

親は一日本社へ左の挨拶電影から京城市は塔長に刺じた絵

が原ひ申する特殊よろ

**尿城府内の** 

京城府の第三期(自昭和八年) 7万五十萬國多指上, **着々と進む** 

美語

錠

一部事件の任實がいづれも被称者の せて、永いサーベル生団から退貨
京城西大門器では担ついで根る豊 實業界への鮮やかな轉身振りをみ

関にこりてこの機能に積極的に

の最後事件の相きは被害者が支 へであるため誕生から同け出ま

「かっこととなった、ことに西橋 お証話になりました。今後共よ網の民衆化により防硬の蘇蜒化 熱内を片づけながら間にこりてこの権害とました。 注意で提査が非常に困難となるした則細路を長木村興想告さん、 とさすがなつかしげに宝内を見題一部助に戻ち、経る百英国を起低 一日期は智長船で早くも背腹部、 四部下水路修計班を樹て、明十 同十六年度含五ヶ年機以事業と 度をもつて流げするが、引取き部

- 豊富にし音優を美化す『喉保護に壁樂家の必携樂

內電

I

Ŋ

綤

**間本四七九四 愛國ネオン商曹** 内 線 係

旅を送りの咳を織む。

学博士 咽喉科斯田奇次先生 摧獎学博士 咽喉科田村有平先生 配明学博士 咽喉科田村有平先生

東大門諸長を継で昭和八年一月一めて多いである

、命救助隊編成 消防手九人を選拔して

響脈は人命数助脈となり、必要に 全部、ケ月の器似を買ひ附近の対は重要助具を構設、出火に膨し先 「産」が一ヶ月の器似を買ひ附近の対して対します。 今まで京城市防治では、各川時は一座戦手を干してこが自動はい 南京成(三)上面要、超二本上類

**と當るやらになつて居たが、近時** 時に於ける人命の危險。カ

籠拔け犯人 捕はる

金メダルを一箇里に持つて来いと 協語で注文、店員が持参するや、 宿・京城本町一丁目の日本常時即 解放解に呼通過校訓算と称して 去る四月中旬京城開路五丁目某類

放送高新課定ラゲオ M山八呆  $(^{\circ})$ 

山中學城林式會計

院腿官

## 電電10三五番地區原産婦人科

## 二十段・五十・鎮嶺田(弁器附五十四)の開館。 咀喚の復労を膨す (りもに店業両全) 国開選継本日市東東 局業堂奈萬田 吉 番大〇三二京東鉄銀 強補 精血 東京に保証人を受す。 では、大を受す。 念恩 麗女 を大 内地人男十七歳より に保証人を原子規模所用本通 に保証人を原子規模所用本通 では、内地人男十七歳より

絡

潭五

臺中

…日な方宮方動人 "人外語館全にて

推 Ш

費速記 練習生 募集

層內

抛

が近れ、一切が変形を表する。

原城日報元山支局

+

九日 京城府黄金町三丁目 Щ

電本台二九八八番·大〇五

大山卯次郎 横田喜三郎 城田喜三郎 城

**專賈創業十五周年** 

風せられましてより恰度十五の武部左の通り 京城府民館で帰行の事資川菜一 年記念式に於ける植居場の

蕊棟居局長式辭

卅日安京城西四段町丸一質店の四

質屋の强盗

場一致可決した

長の罪就を叫んで學長が可賀鮮機 するまでストライキに入る質を消 鑑認し一旦上旬十時より歴生大館 和学長に對する単生の不満は強に

【黑京電話】立敢大學文學部長小 | 郡島神村住所不定和崎榮太郎(")

島製造の階級問題に増を配した木で、一味の首観者と判つた、和崎 ついてゐたものである は逃走後地理不案内の京城をうる のではて不思議と観閲覧気がのぞ 空家の怪

公表の中から歴火がチラノ〜する。境之で行くが市院教は(Wondown H) 月投十一時頃京城鎮路三の一九。ない事で、建物の間がはまん/〜 調べてみると? つた、超憾なのは、植子自動車の 人命数切に要促せしめることした

くと窓外一人の男がナイフをもつ

ーナスも出た、官器の昇給して **砂害者は直ぐ** 

機関子が唯一歌しかなく、昨年の

トンテ西中 番州四八事電 話もの一株京芸術

お茶は本町五清元園 設計に食生量

言物を振う 塩井醫院 食動で見塩井醫院

京日案內

· 國際自由內積 · 國內

特に及り特になりにてる限す

2 (多生は、水田を火) 野学の東京科研究

ないと

大金を手許におくな

四大門署から注意

雏

0 1) (

四分世の十一年度世界は三十

五英二子七百五十八回で、市街の一をり、板年度寮第にはこの處理時一されることゝなつてゐる Nの十一年度要別は三十一その取扱のは完全に素字を出して、

した今日では、一直なる汚状の消滅施説、汚物院 相の政治とが緊急事業として計

虚分の新設備府廳で講究中

校舎の一部はすでに出來た

き大農學校

<sup>尽農・</sup>秋迄に全部完成

約十萬坪の戦権を買入れ、總上費 の程質智語と帯宿舎等一部が洛 **だを一つ越えた御僧町に延坪** 

> 不良の悪戯 恩民は峻成した市城圏県校の

ぬことをする不良少年があって、 製態長方の女中さん対薬が辿つた してゐたところ、卅月正年、本府 さん逆を追つかけては、怪し

なく完婚したもので、内師に比較

といったやらにすべて遺憾

**勘準員に定め、内三人を数助具の** 県等を各人に擦得せしめ人命数助 は慰華人命数助殿の攝説に就き研

立教學生大會で

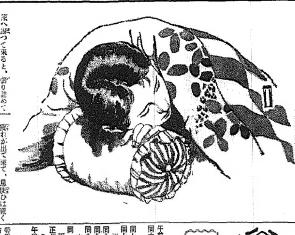
同盟休校を決議

し、残六名は各派出所第一出動隊 十四歳の少年

に各一名を釈山せしめ、現場知行 自殺の虞れ

と同時に火焰を衝いて各組を想象 尚玉君(\*b)迁数日前粉签容疑者 して府内記名へ検味され卅日春 難して一日午後二時半時行方不明 されるで、指に申端ないと重告さ

登り、時々心雨



に五五歩を笑き越しても日下の屋中村君の四三銀のところは直ち

金 易二郎

銀步

一部久能となって知って面白いでせる。一つ数に五五歩と位を振られても一の数に五五歩と位を振られても一般と縮った。

でもあり、先決問題でもあるとんで、三六歩は常然の手配でもあり、先決問題でもある。これで三七程跳れの捌きも出來る。ここで記諾してのると遊

セツトを急送致しますノれば引換に美しいレターれば引換に美しいレターを選り下さ

**添類でも、 叉大小何で明治チョコレート** 

叉大小何でも)

**治照本文吉** 

疲れが出て来て、息便ひは荒く

(10)

でルベーレのトーレコヨチ治明

ノ星贈を (机入箋便・筒封) トツセータレ

**摩造元** ミッワ農場葡萄園

果京ミッワ石鹼本舗經營 朝鮮浦項

日五十月七・切締

八ノ二橋京區橋京市京東 • 先り送

平前六時(東)ラチオ機様 同六時三〇分(東)基機様能能性 (三十五) も11111 1112年 一坪漁人作 午(東)時報日用智信段・鮮皇の飲料(一) 柿沼 三郎 | 10時三0分(東) 家庭護路 二日の番組 第一放送《(木曜日)~ 今日の天氣見込 ラチオ関操

九時一五分(須象通報、料理献九時一〇分(須象通報(釜山) 分(性) 朝の修蓋 道歌

口兵隊 西條八十時 林柳故詩 光芒

|同六時五五分(東)カレントトビックス といふ本には丁寧に地方形にして

名山と題しまして、吹る着は十山の時の音の地理の説物を見ますと

0 

同四時四〇分(東) 剱象逝報・盆

松岡修三

安期行天公司

医 漢大 ☆ 東 原 東 京 青 上 期 英次人会 東 記憶 京 京 記憶 音 平 海 記憶 元 医颈大 医代底 京 京 江島 行 州城强行船總 行 新城强行船總 行

行「在職」 4. 八日 六月廿八日

0

深がついてみると、年暖い肌が

午後零時五分 筝曲

三日のき、物

の見聞をお話申し上げ、併せて森 がや膨木のことなども別即へて配 の見聞をお話申し上げ、併せて森

世 しい変物に指り動かされた。 悪 たいやうな、皆て憂えなかつた誠。 たいやうな、皆て憂えなかつた誠。

第座

同九牌五分(大)遊歌風景 便は オリンピック選手(上)韓頭の を 秋田實作 塩山エンタッ 形面エノスケ 杉加エノスケ

同味線の

同同者とと

同六時(名)お話 金京城――海

奥特殊會社の設立に就て同七時三〇分(秋)驛演、東北振 南光 劫三

い線心がひしくと既せられます 私はこの遺話を中心にして古人の

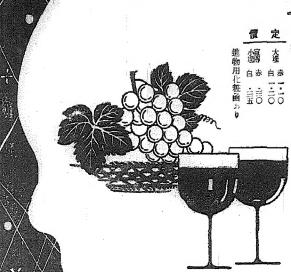
百人が深い心から作りのこした國

オリオンコール

出

本紙一萬號記念縣賞小說二等當選

と、干変子は、夢中でその中に



永年苦心の結晶です 東洋のボルドー(農場葡萄園) 併もエキス分が豊富 ですから滋養料とし ても質に優秀です

天然甘味葡萄酒 です 自然の藍の甘味です

一國産の棒!